

第2章 水道事業の概要と沿革

2.1 香取市の概要

1) 自然条件

(1) 地勢及び地形

香取市は、千葉県の北東部に位置し、首都東京から70km圏、県都千葉市から50km圏内にあり、北部は、茨城県と接しています。

市の総面積は、262.31km²と県下で4番目に大きく、北部には利根川が東西に流れ、その流域には水田地帯が広がっています。この利根川に面した低地部は、水郷と呼ばれ観光地として知られています。利根川以南は、標高40m前後の台地が多く、台地には畑や山林、それ以外の地帯では水田が広がっています。

(2) 地質

地質は、利根川周辺の水田地帯が沖積層・埋立地、それ以外は下総層群（房総半島中部から北部に分布する中・上部更新統＝洪積層：地学事典）で大部分を占め、シルト（微砂）、砂が主体となって構成されています。

(3) 気象

気象は、平均最高気温 19.3℃、平均最低気温 10.2℃ 平均気温 14.7℃、降水量 1,387mm（平成 19 年度版香取市統計書）と比較的温暖的な気候ですが、県内 17 の地域気象観測所で比較すると気温は低いほうです。

(4) 災害等

本市は、利根川とその他多くの河川を有しているため、水害が発生しやすい状況にあります。地震については、1987 年の千葉県東方沖地震（M=6.7、震度5）において、利根川周辺の水田地帯で液状化現象が発生しています。なお、平成 19 年度に実施された県の「想定地震と震度分布予測・液状化危険度予測」（県総務部消防地震防災課）では、1987 年の千葉県東方沖地震と同規模の地震を想定した場合の千葉県内の最大震度を 6 弱と予想しています。



香取市の位置
(出典：香取市ホームページ)



市の花（アヤメ）

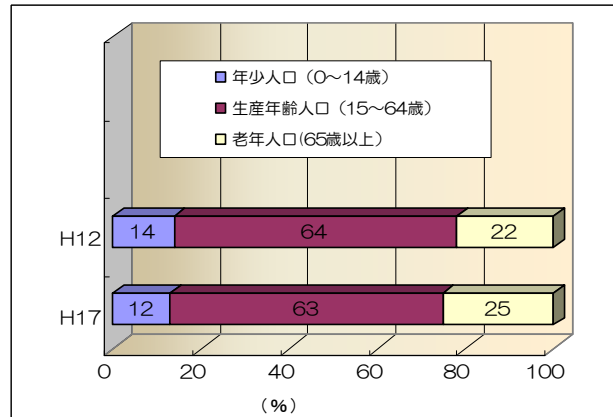


市の木（サクラ）
(出典：香取市ホームページ)

2) 社会条件

(1) 人口

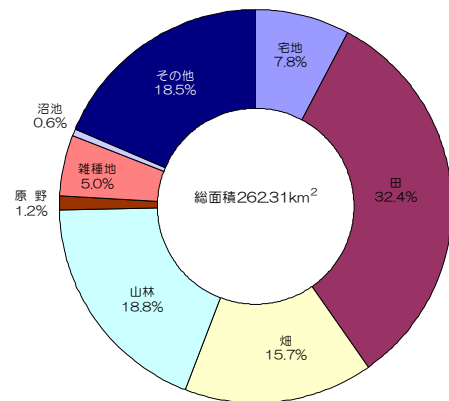
本市の人口は、過去2回の国勢調査によると、市全体で約3,600人程度減少しており、平成17年度現在、87,332人となっています。一方、5歳階級別人口実績では、総人口に占める年少人口及び高齢化人口の割合は、平成12年度の36%から平成17年度は37%と上昇傾向にあり、今後、さらに少子・高齢化が進むものと予想されます。



図表 2.1.1 年齢3区分別人口実績
(出典：平成19年度版香取市統計書)

(2) 土地利用

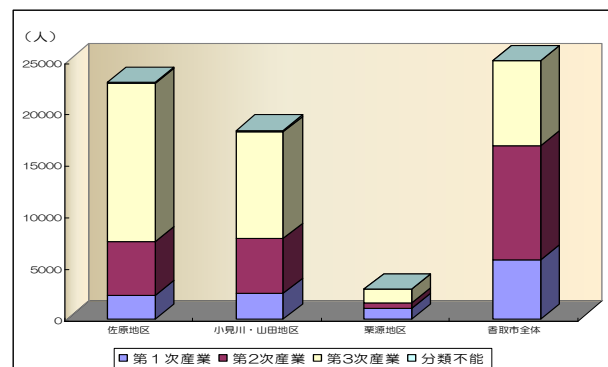
現在の土地利用は、第1次産業に使用する土地利用の割合が大きく、田(32.4%)、畑(15.7%)、で48.1%と全体のほぼ半数を占めています。



図表 2.1.2 土地の地目別面積・比率
(出典：平成19年度版香取市統計書)

(3) 産業構造

本市の産業構造は、各地区とも第3次産業の占める人口が比較的多く、市全体で約61%を占めています。



図表 2.1.3 産業別就業者数
(出典：平成19年度版香取市統計書/国勢調査報告)

2.2 水道事業の概要

1) 水道事業の沿革

(1) 佐原地区水道事業

佐原地区の水道事業は、昭和27年2月に計画給水人口20,000人、計画一日最大給水量3,000m³の規模にて創設されました。その後、昭和56年までの3次にわたる拡張事業を実施するとともに、北部上水道（昭和37年創設）と西部簡易水道（昭和43年創設）を統合し、現在に至っていますが、給水区域は旧市域のほぼ半分となっています。

(2) 小見川・山田地区水道事業

小見川・山田地区の水道事業は、昭和54年4月に旧小見川町上水道（昭和30年創設）、利北地区簡易水道（昭和35年創設）の2事業と旧山田町北部（昭和33年創設）、西部（昭和39年創設）、東部（昭和42年創設）の3簡易水道事業を統廃合し、計画給水人口47,000人、計画一日最大給水量20,220m³の規模で給水区域を旧小見川町及び旧山田町の全域並びに旧佐原市の一部とする小見川広域水道企業団水道事業として創設され、現在に至っています。

(3) 栗源地区簡易水道事業

栗源地区の水道事業は、昭和46年5月に計画給水人口2,500人、計画一日最大給水量416m³の規模で簡易水道事業として創設されました。その後、昭和57年3月に計画給水人口4,876人、計画一日最大給水量1,300m³とする第1次拡張事業認可を取得し、給水区域を旧栗源町全域に拡張して、現在に至っています。

2) 水道の普及状況

香取市の水道普及率は、平成20年度現在、76.3%ですが、全国平均97.4%、千葉県平均94.3%（*いずれも平成19年度実績）と比較すると低い水準にとどまっています。

なかでも佐原地区については、水道が普及していない地域が多く残っており、普及率の向上が課題となっています。

図表 2.2.1 水道の普及状況（平成20年度実績）

項目	佐原地区	小見川・山田地区	栗源地区	市全体
A 行政区域内人口（人）	—	—	—	83,721
B 給水区域内人口（人）	36,097	35,187	5,002	76,286
C 給水人口（人）	28,201	31,685	4,000	63,886
D 水道普及率 C/A（%）	—	—	—	76.3
E 給水普及率 C/B（%）	78.1	90.0	80.0	83.7
計画給水人口（人）	48,000	47,000	4,876	99,876
計画一日最大給水量（m ³ ）	21,600	20,220	1,300	43,120

*人口は、常住人口による。

3) 水道事業計画の達成状況

香取市水道事業全体としての進捗状況は、給水人口が達成率 64.0%、1日最大給水量が達成率 58.2%であり、近年の経済の低迷や人口の減少、節水意識の高揚や節水型洗濯機等の普及により需要水量が思うように伸びていない状況にあります。

図表 2.2.2 水道事業計画の進捗状況（平成 20 年度末実績）

項目 水道事業名	直近の事業認可名 (認可年月日/計画期間)	進捗状況	計画給水人口 (人)	計画一日 最大給水量 (m ³ /日)
佐原地区 水道事業	佐原市水道第3次拡張事業 昭和56年4月1日 工期：昭和56～平成2年度	計画値	48,000	21,600
		実績値	28,201	10,952
		達成率	58.8%	50.7%
小見川・山田地区 水道事業	小見川広域水道企業団水道事業 創設事業 昭和54年4月1日 工期：昭和54～平成元年度	計画値	47,000	20,220
		実績値	31,685	13,249
		達成率	67.4%	66.5%
栗源地区 簡易水道事業	栗源町簡易水道第1次拡張 (第2次変更)事業 平成8年3月29日 工期：平成8～平成17年度	計画値	4,876	1,300
		実績値	4,000	879
		達成率	82.0%	67.6%
合計	3地区水道事業の合計値 (達成率=実績値/計画値)	計画値	99,876	43,120
		実績値	63,886	25,080
		達成率	64.0%	58.2%

4) 組織・職員構成

水道事業の組織体制は、平成21年4月1日現在、2課で構成されており、職員数は40名（水道事業管理者は含まない）となっています。

図 2.2.3 香取市水道事業 組織構成図（平成 21 年 4 月 1 日現在）

